

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)事業評価シート

No	区分	交付対象事業の名称	事業の概要：目的	計画額	実績額	本事業における重要業績 評価指標（KPI）		指標に対する実績	検証コメント
						指標値	目標 年月		
1	基礎 交付	総合戦略策定事業	養父市版総合戦略の策定	7,301,000	6,509,092			—	—
2	基礎 交付	やぶの空き家活用支援事業	空き家の増加は、地域コミュニティの希薄化や地域活力の低下を招き、放置すれば周辺の生活環境や安全性を悪化させる。このため、空き家活用支援事業に取り組むことにより、空き家解消に向けたストックの有効活用を図るとともに、移住定住の促進を図る。	1,500,000	1,500,000	助成件数 1件 当該制度による転入者数 5人	H28.3	助成件数 1件 当該制度による転入者数 5人	空き家については今後も増加していくものと想定される。空き家解消に向け、更なる空き家の有効活用・移住定住の促進に向けて検討することが必要である。
3	基礎 交付	ちょこっと暮らし住宅支援事業（お試し住宅）	養父市への移住定住を考えている方に、一定期間、自然に恵まれた地域の住宅を提供することにより、本市の気候や風土、地域との交流や近所づきあいを体感していただくとともに、就職活動、住宅探しの拠点として利用することにより、田舎暮らしへの不安を解消し、養父市への移住定住が円滑に行われるようにする。	2,670,000	2,202,000	移住定住世帯 6世帯	H28.3	移住定住世帯 4世帯	移住定住を考えている多数の方に、養父市独自の利点を明確にし特色を生かした田舎暮らしの情報を幅広く周知するためにもお試し住宅のPRを強化することが必要。
4	基礎 交付	地域子育て支援グループ育成事業	子育て世帯の身近な地域（立場）で活動する子育て支援グループの発掘及び育成支援を行うことにより、地域で安心して産み・育てられる環境を整備する。	1,887,000	1,369,643	地域で子育て支援に取り組む団体数 18団体 子育て支援活動実施回数 (延べ)1,000回	H28.3	地域で子育て支援に取り組む団体数 17団体 子育て支援活動実施回数 (延べ)925回	現代の子育て世帯のニーズに合った、子育て支援グループの育成をするとともに、地域の身近な存在になるように根づかせていくことが重要。
5	基礎 交付	一円電車創生物語事業	人口流失、高齢化が著しく進む明延集落は、かつて鉱山で栄えた集落である。鉱山関連施設などは、近代化産業遺産として指定を受けており、その中でも地域のシンボルとして存在する一円電車を運行させることで地域の活性化を図る。	2,796,000	2,686,762	運転士養成数 20人 整備士養成数 5人	H28.3	運転士養成数 17人 整備士養成数 5人	講習会については、誰もが参加しやすい日程調整を行う必要がある。一円電車の持続に必要な整備士の確保ができ地元を中心とした環境が整ったことから今後は、一円電車を活用した事業の発展が必要である。
6	基礎 交付	市内観光交通アクセス確保事業	JRの駅からの2次交通アクセスを確保するため定額タクシー事業を実施し、JRを利用した都市部からの観光客の利便性向上を図る。	660,000	372,840	定額タクシーの利用回数 100回/台	H28.3	定額タクシーの利用回数 1回/台	新年度での体制を早期に確立させるとともに、観光客に幅広く周知し利用できるPR体制も整えることが必要。
7	基礎 交付	特定不妊治療費助成事業	子どもを望んでもできにくい夫婦に、経済的支援を行うことで、子どもを授かる機会を提供し、出生率の向上を図る。 特定不妊治療（体外受精・顕微授精）に係った費用から県助成金を除いた全額を助成する。 ただし、県の助成事業を優先する。（所得制限は県に準じる）	1,904,000	1,812,183	治療を行った夫婦のうち90%の夫婦が妊娠する	H28.3	治療を行った夫婦のうち36.4%の夫婦が妊娠（申請11件中4件）	子どもを授かる機会を支援し、出生率を向上させるためには、対象夫婦の裾野を拡げ治療に専念しやすい環境をつくることが重要。治療を行った夫婦のうち妊娠に至った割合は全国並みであるのに対し、KPIの設定が高すぎたのではないかと。

No	区分	交付対象事業の名称	事業の概要：目的	計画額	実績額	本事業における重要業績評価指標（KPI）		指標に対する実績	検証コメント
						指標値	目標年月		
8	基礎交付	但馬農業高校支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>兵庫県立但馬農業高校の存続発展、農業を志す若者の支援、地域農業の活性化に資することを目的に、但馬農高に在学する生徒のうち、自宅から遠距離等により通学困難な生徒が養父市内に下宿する場合に、その生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るため、下宿費の一部を助成する。（県下一円からの就学可能なため）</li> <li>下宿の貸主（3親等以内の親族除く）が、食事等を提供する場合については、その費用の一部を貸主に助成する。</li> </ul> <p>※下宿代に食費、光熱水費が含まれる場合はそれらを除き、生徒一人につき月額4万円を上限として助成する。貸主への助成は2万円を上限とする。</p>	720,000	720,000	下宿予定者数 3名 貸主予定者数 3名	H28.3	下宿者数 1名 貸主者数 1名	新年度において下宿予定者数を把握し、早期執行できる体制づくりが重要。実績が1件にとどまった原因は何かを検証するとともに、市外から但馬農業高校に生徒を呼び込むための魅力向上と発信が重要と考える。
9	基礎交付	やぶ婚活応援事業	晩婚化及び未婚化が進む中、結婚活動を行う独身男女に出会いの場を提供するなど、婚活を支援することにより、市の人口減少に歯止めをかけ、若者の移住定住を図る。	700,000	566,000	世話人を通じた成婚件数 2件 婚活イベント等の開催回数 2回	H28.3	世話人を通じた成婚件数 1件 婚活イベント等の開催回数 4回	世話人を通じた成婚の内容や婚活イベントの成果をPRし、婚活の推進に努めることが必要。婚活と聞くとハードルが高いため、誰もが行きたくなくなるようなイベントがよい。また、イベント等の実施主体に若い世代が関わる仕組みも必要と考える。
10	基礎交付	起業等支援事業	<p>①市内での起業、事業拡大に際し、クラウドファンディングを活用して資金調達を行う事業者に対し、手数料の一部を補助するとともに、市内特産の農産物等の海外での販路開拓を支援する。</p> <p>②東京浅草に養父市をPRするためのショップを設置。養父市の特産品「朝倉山椒」のPR、販路開拓、訪日外国人への認知度アップに向けた取組み。その他ふるさと納税、移住定住の相談窓口も併設し、魅力発信に注力。</p> <p>③ミラノ、パリ朝倉山椒PR 平成28年2月にミラノ、パリでの朝倉山椒プロモーションを実施。</p>	11,929,000	11,768,840	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドファンディングを活用した起業・事業拡大件数：2件</li> <li>市内特産農産物等の海外での販路開拓数：10件</li> <li>市内特産農産物等の国内での販路開拓数：10件</li> </ul>	H28.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドファンディングを活用した起業・事業拡大件数：2件</li> <li>市内特産農産物等の海外での販路開拓数：ミラノー現地高級食材バイヤーとの契約1件（イタリア全土のレストラン等に販売）、パリー現地バイヤーを通じてのレストラン等からの引き合い10件</li> <li>市内特産農産物等の国内での販路開拓数：レストラン、食品加工業者からの引き合い5件</li> </ul>	やぶパートナーズとの連携によりPR活動等を行い、朝倉山椒をはじめとする市内特産農産物の海外・国内の販路拡大を目指すため、継続して実施することが必要。
11	基礎交付	養父市創生シンポジウム事業	国家戦略特区の指定から2年を契機に、講演会及びパネルディスカッションを開催し、特区の取組・進捗状況並びに成果を広く周知するとともに、国内の中山間地域・過疎地域のモデルとなるべく、養父市における国家戦略特区の推進と地方創生を考える機会とする。	4,000,000	3,906,544	シンポジウム参加者 800人	H28.3	シンポジウム参加者 約900人	特区指定から2年が経過することを契機に行った。シンポジウムには多数の参加があり、特区の取組みについて広く周知することができ、今後はシンポジウムでの議論を養父市の創生に活かすことが必要。また、市民との意見交換や特区同士の交流を行うことも重要である。
12	基礎交付	近代化産業遺産トロッコ電車活用プロジェクト事業	人口流失、高齢化が著しく進む明延集落の鉱山関連施設を活用し子供達が近代化産業遺産学習の体験活動だけでなく地域の活性化を図るために、和田神社から大仙までのトロッコ電車を復活し観光列車として運行する。併せて明延トロッコ軌道や明延探検坑道の体験プログラムをよりわかりやすくリアルな体験にするため、軌道や展示物が操業当時稼働していた映像をタブレットアプリなどで見せあわせて多言語化することでより多くの来場者を呼び地域を活性化する。春休みにファミリーや若者向けの体験会を週末実施し賑わい事業と併せて行う。	10,000,000	2,916,000	トロッコ乗車人数 200人 タブレットを利用した明延鉱山探検坑道利用者数 300人	H28.3	トロッコ乗車人数 68人 タブレットを利用した明延鉱山探検坑道利用者数 68人	明延地域の魅力を整理し、環境を整え、発信していくための基本的方向をしっかりと押さえて、一円電車創生物語事業と併せて、無駄なく効果的に事業を展開する必要がある。探検坑道は養父市屈指の地域資源でありICT技術の活用は将来的に有効と考えられる。

No	区分	交付対象事業の名称	事業の概要：目的	計画額	実績額	本事業における重要業績 評価指標（KPI）		指標に対する実績	検証コメント
						指標値	目標 年月		
13	基礎交付	企業等振興奨励事業	市内の商工業者（事業所）を支援することにより、産業の振興と雇用機会の拡大を図る。具体的には、市内で製造される製品又はサービスの販路拡張のために、市外で開催される見本市に出展する積極的な事業所を支援する。結果、販路拡大による安定操業を促すとともに産業の振興を促進する。	500,000	500,000	申請事業者の販路開拓数 2件	H28.3	申請事業者の販路開拓数 10件	国家戦略特区である知名度・利点を最大限に活用し、積極的に出展することが望ましい。
14	基礎交付	養父市4スキー場誘客巻き返し事業	養父市には、冬季の観光の目玉であるスキー場が市内に4箇所あるが、今冬の雪不足により観光客入り込み数が大幅に減少している。そこで兵庫県が実施する雪不足に対する支援策と併せて、養父市でも観光客を誘客するための取組みを実施。またスキー場で働く短期間労働者も多く、誘客することにより仕事の場の確保にも繋げる。 ◆12・1月短期間労働者数 H26年度177人 H27年度132人（△45人） ◆12・1月短期間労働者平均勤務時間H26年度約7.25時間 平成27年度約5.75時間（△1.5時間）	5,000,000	5,000,000	平成27年度（12月～3月）4スキー場入り込み客数 97,195人	H28.3	平成27年度（12月～3月）4スキー場入り込み客数 90,405人	近年にない暖冬・雪不足という今年度に限った突発的な事業であったが、臨機応変に対応できた。本件に限らず、必要なタイミングで効果的な施策を実施できるように、常にアンテナを高く上げて、情報収集と対応策の実現が可能となる体制を築くことが必要。
15	上乘せ	やぶぐらしプロモーション事業	移住・定住希望者のワンストップ窓口となる「やぶぐらし支援センター（仮称）」の開設を見据え、U・Iターン者向けに「やぶぐらし」を紹介するパンフレット等を作成し、移住定住の促進を図る。	1,850,000	1,441,800	転入者 H24～H26平均487人に比較して20人の増	H28.3	転入者 H24～H26の平均487人に対し平成27年は3人の増（490人）	地方創生の実現のための、窓口でもある本事業は、本市の魅力を最大限且つ効果的にPRするものであり、常にブラッシュアップを繰り返しながら進めることが必要。専門的な知識を持った相談員の配置など環境を整備することにより、さらに効果的な事業とする。
16	上乘せ	儲かる農業推進事業	減少する農家、耕作放棄地の増加が課題。国家戦略特区の指定を受けた本市において、中山間地の農業におけるこれらの課題に対応するため、従来の農業にとらわれず、新しい取組にチャレンジする農家・農業生産法人を支援し、農業の振興を図る。	6,100,000	5,927,080	①H27年度に新たに農業生産法人となった法人数 3社増 ②③販路開拓やオリジナル農産物の生産など新たな取組を行う農家数48人（社）	H28.3	①H27年度に新たに農業生産法人となった法人数 3社増 ②③販路開拓やオリジナル農産物の生産など新たな取組を行う農家数14人（社）	特区事業者ののびに産地化への取組は明るい材料であるが、同時に機械設備の確保が各社必要になってくるので共有化を図るなどの対応をすべき。
17	上乘せ	産業連携支援事業	地域産業の連携によって行われる既存商品・技術・サービスの高付加価値化、新商品・技術・サービスの開発への取組み等に対して補助金を交付し、本市の産業振興を図る。	1,750,000	1,122,000	連携事業者による新商品開発 2件	H28.3	連携事業者による新商品開発 2件	新商品の研究開発に今後も取り組む企業が増えることを期待する。同時に、その商品のPRを行政としても積極的に行うことが必要。
18	上乘せ	放課後ふるさと教育事業	核家族化が進む中、地域まるごと3世代をテーマに地域全体で子育てを行う環境を創る。国家戦略特区の規制緩和を見据え、シルバー人材センターの会員が小学生を対象としている放課後等の学童保育において、昔ながらの伝統・遊び・料理等を伝承する場を設ける。このことで養父市の子ども達の地域への愛着の醸成を図りUターンに繋げる。また、シルバー人材センターを活用することにより、高齢者のしごとの場を創設する。	300,000	299,977	ふるさと教育の受講児童数延べ300人	H28.3	ふるさと教育の受講児童数延べ303人	長期継続が重要な事業であり、将来の事業執行方法や予算確保についても念頭において、事業のブラッシュアップが必要。
			基礎交付分	51,567,000	41,829,904	9,737,096			
			上乘せ交付分	10,000,000	8,790,857	1,209,143			
			小計	61,567,000	50,620,761	10,946,239			